

管理施設の利用状況(平成26年4月～平成27年3月)

※資料1

●利用状況表

	管理施設									相談対応	その他の利用者	総数
	ミーティングスペース		交流スペース		ワークスペース		情報スペース	小計(件数)	小計(人数)			
4月	40件	275人	27件	133人	68件	143人	7人	142件	558人	18件	259人	835人
5月	34件	294人	15件	59人	56件	100人	6人	111件	459人	7件	236人	702人
6月	42件	323人	19件	103人	50件	93人	3人	114件	522人	16件	202人	740人
7月	35件	256人	21件	89人	57件	116人	7人	120件	468人	11件	267人	746人
8月	26件	182人	21件	86人	48件	90人	5人	100件	363人	14件	342人	719人
9月	33件	276人	23件	121人	65件	120人	16人	137件	533人	6件	329人	868人
10月	41件	265人	17件	73人	77件	155人	8人	143件	501人	15件	322人	838人
11月	25件	223人	19件	97人	38件	94人	11人	93件	425人	11件	356人	792人
12月	24件	141人	23件	96人	35件	105人	15人	97件	357人	8件	222人	587人
1月	26件	176人	22件	111人	42件	95人	13人	103件	395人	10件	341人	746人
2月	44件	279人	21件	110人	66件	109人	16人	147件	514人	5件	420人	939人
3月	43件	323人	20件	100人	80件	177人	11人	154件	611人	7件	305人	923人
計	413件	3013人	248件	1178人	682件	1397人	118人	1461件	5706人	128件	3601人	9435人

(注) * 管理施設の小計＝交流スペース＋ミーティングスペース＋ワークスペース＋情報スペースの利用者数
 * 総数＝管理施設の利用者数＋相談対応件数＋その他の利用者(施設見学・案内など)

<参考>

平成23年度	265件	1178人	368件	2938人	545件	1439人	233人	1411件	5788人	325件	7601人	13714人
平成24年度	306件	1406人	451件	3220人	537件	1796人	329人	1623件	6751人	355件	6795人	13901人
平成25年度	442件	3251人	268件	1306人	659件	1506人	476人	1845件	6539人	194件	5811人	12544人

市民公益活動支援センターの利用について
(利用者アンケート)

1. 実施期間 平成27年2月
2. 実施方法
- ・「ボランティア・市民公益活動ガイドブック」掲載団体に郵送にて依頼
 - ・ガイドブック未掲載で住所等が分かる団体については、ランダムに選出し郵送にて依頼
 - ・市民公益活動支援センターの施設利用者に窓口にて依頼
3. 回答数 83団体

4. アンケート結果

I. 現在どのような目的及び時間帯で利用されていますか

①利用目的

会議・打合せ	27	情報検索パソコン使用	0
印刷・コピー・紙折り	53	貸事務ブース利用・ロッカー使用	5
ポスター・チラシの展示・配架依頼	8	相談	7
情報収集(チラシ閲覧・資料入手等)	8	その他(講座の受講)	3
ミニ図書館利用	1		

※未記入(9団体)

②主な利用時間帯

	月	水	木	金	土	日
午前	9	10	11	8	11	8
午後	10	6	3	4	2	1
夜間	2	1	0	0	0	0

II. 今後における利用曜日・時間帯の変更について

①もし、土日を休館した場合、休館になると困る曜日・時間帯は

土曜日を休館	16 / 83
日曜日を休館	13 / 83
土曜日の夜間を休館	1 / 83
日曜日の夜間を休館	1 / 83

土日を休館した場合に関する自由意見欄

キックスの休館日と重複しないようにお願いしたい。	1
開館日に合わせて利用する。	2

仕事のある人は、土日が休館になると困ると思う。	1
(仕事等のため) 土日に利用したい。	2
土日は閉館で構わない。	1

②火曜日を開館・休館することについて

開館してほしい	16 / 83
休館のままでよい	20 / 83
どちらでもよい	34 / 83
未回答	13 / 83

③開館時間について

現状でよい	27 / 83
早く閉めてもよい	33 / 83
(17時)	(4 / 33)
(18時)	(9 / 33)
(19時)	(14 / 33)
(20時)	(3 / 33)
(未回答)	(3 / 33)
未回答	23 / 83

Ⅲ. ミーティングスペース・交流スペースの利用方法について

現状でよい	44 / 83
改善してほしい	7 / 83
未回答	32 / 83

改善して欲しい理由 (7団体)

複数団体が使うと気を遣う。	1
他の利用団体との遮断措置をしてほしい。	3
もっと色んな人が利用するように、バザーやリサイクル市等を開催していただきたい。	1
利用方法が分からない。	1
未記入	1

Ⅳ. 次の施設の利用を考えていますか

①貸事務ブースの利用

利用したい	6 / 83
利用は考えていない	43 / 83

あるの知らない	11 / 83
---------	---------

②貸ロッカーの利用

利用したい	7 / 83
利用は考えていない	47 / 83
あるの知らない	12 / 83

③ポスター（展示）・チラシ（配架）

利用したい	26 / 83
利用したいと考えている	14 / 83

V.「るーぷらざ」施設運用・利用に関するご意見

■開館時間等に関すること

- ・全日7時に閉館してもいいのでは。土日等は5時に閉館してはどうですか
- ・現在のままで良いです。
- ・不定期ですが、夜開いているのは大変助かります。
- ・火曜日は半日でも開いている方が良い。ただ夜間利用者が多いなら現状で
- ・現状通りで良いと思います。特に不便は感じません。

■ソフト面に関すること

- ・まちづくりのテーマごとの情報収集と利用が充実できたらと思います
- ・いつもお世話になりありがとうございます。メンバーがなかなか集まりにくいので、メンバー募集と出張演奏を希望される方) 募集、この2つの点でお世話になりたく思っております。何卒宜しくお願いいたします。
- ・いつも郵送下さるイベント情報等は大変有難く仲間に配っています。
- ・ボランティア活動に大変力になる施設運営と感謝しています。
- ・講座開設ありがたいです。

■ハード面に関すること

- ・貸ロッカーについて知りたい。大きさや手続きなど。
- ・いつ行っても貸して下さるのが嬉しい。
- ・枚数の多い時に印刷（コピー）をお願いしています。
- ・気軽に利用させていただき、有難く思っています。しかし予約して貸していただくのが安心ですし、好きな場所を借りられる。
- ・必要な時、便利に利用させていただいています。
- ・貸事務所、ロッカーは良いと思います。今まで使った事はないが便利だと考えます。
- ・父母の会、障がい者福祉センターが利用できるし、立ち上げた法人会議室、倉庫を借りる事が出来ているため、施設利用はしなくてすむ。時々打合せなどで3、4人で利用させていただく事がある。会に対しボランティアとして他の会の方々が心良く事業を提供下さることはとても

ありがたいです。

- ・サークルの会議や印刷にとっても便利に利用させていただいています。夜9時までという利用時間が仕事の後に利用できてありがたいです。
- ・主に印刷に助けてもらっています。非常に便利で助かっています。今後も是非継続してお願い致します。
- ・印刷、コピーのみの使用だが、最初に行った時、印刷機で製版して行うやり方を教えてもらった。その後コピー枚数の少ないものでも全て製版して行っていたがコピー機と印刷機の使い分け、料金システム等、印刷、コピースペースに明確に表示して頂きたい。
- ・印刷、コピーの使用で、現状問題ありません。
- ・現在、地域まちづくり協議会の活動では印刷とミーティングスペース（夜間）を利用させてもらっています。福祉委員会活動では印刷で利用させてもらっています。ポスタースペースも色々と改善されているし、皆さんの対応もフレンドリーで好感を持って利用させていただいています。ありがとうございます。
- ・広報の印刷、総会資料、報告の印刷に利用させていただき、大変助かっています。プリントが早い、安い、折込みができる。
- ・最近A3版ラミネート機がありませんが…何か理由が？
- ・現状は印刷しか使用していません。他の設備、運用についてはよく分からない。個人的にはこのような設備があることも知らなかった。自治会としてもこれ以上の利用は考えられない。
- ・現在はコピー、紙折りが多く利用している現状です。今後はもっと利用できる様検討して行きたいと思っていますので、よろしくお願い致します。
- ・現在、配布分（自治会、町会）の印刷のみ利用させてもらっています。大変安価で助かっています。利用は平日（閉館日除く）午前中ですので曜日、時間帯はどのようになっても問題ありません。ミーティングルーム、交流スペースは現状利用予定はありません。
- ・いつも有難うございます。印刷のみですが、安価で助かっています。

■その他

- ・施設名称の変更を提案したい。（「公益活動」が分かりにくいので、まちづくりボランティア活動支援センターというような形に。）
- ・交通の便が悪いので利用していません
- ・気軽に利用させていただき、有難く思っています。
- ・大変ありがたく思っています
- ・スタッフの皆様にはいつも親切丁寧に接して頂きありがとうございます。
- ・いつもお世話になりましてありがとうございます。今後共御指導の程宜しくお願い致します。
- ・特にありません。気楽に利用させて頂いています。
- ・現在特に利用させて頂いてありません。何かお世話になることもあるかと思っておりますので、その時はよろしくお願い致します。
- ・特に現在はありません。いつもお世話になっております。今後共よろしくお願い致します。
- ・現在利用しておらず、今後の予定もありません。駅から遠いので。

事業名称	概要				評価・所見等
	日程	会場	延人数	内容、テーマ、講師等	
1. 情報の収集・提供に関する事業					
ボランティア・市民活動紹介冊子「ガイドブック」の作成	7月	市内のボランティアまたは市民活動をしている団体・グループの情報（平成26年7月現在）をまとめた冊子(550部)及び一覧表A4版・A5版(計4110部)を発行し、掲載団体(122団体)、福祉施設、学校等に配布及びるーぷらざ・キックス等で閲覧し活用した。			今年は団体活動紹介以外に「ボランティア活動って何?」、市の支援補助金・協働提案制度、NPOに関する知識、福祉施設住所録を掲載する等、リニューアルした。また、今年から福祉施設等にも配布した。
生涯学習情報誌への記事掲載	年4回	市広報合冊の平成27年1月号かわちながの生涯学習情報誌「さあ、いこか!」に「ボランティアフェスティバル」の案内、及び、「ボランティアとは?」等の記事を、8・11・1・3月号に支援センターの活動関連をアラカルト欄に掲載した。			市広報に合冊し掲載、ボラフェス案内や参加団体の活動内容を紹介することで、ボランティア・市民活動情報を広く市民に提供できた。
支援センター情報紙「るーぷらざだより」の発行	年4回	支援センター情報紙、春号(25号)夏号(26号)秋号(27号)冬号(28号)の4回発行、(各号カラー版1,000部)「ガイドブック」掲載団体・推進委員などに配布、各公共施設等に配架、来場者に配布した。			支援センターの行事・施設活用紹介・団体活動記事・ボランティアマッチングシステムなど色々な情報が掲載できた。また、今年度からカラー版とした。
他市他施設の調査・研究	11月18日	川西市民活動センター	15	川西市民活動センターを見学し、施設及び事業内容の説明を受けた。	同センターは講座が60回/年、相談対応内容の説明、図書・ビデオ・DVD等の閲覧などあり勉強になった。
ホームページの管理運営	通年			支援センターの管理運営状況の更新、支援センター行事のお知らせ、団体年間行事のお知らせ等を掲載した。	定期的に更新ができた。当センターの行事や情報が迅速に掲載できるようになった。
その他	通年			キックス1階情報コーナー・市役所・フォレスト・公民館等に団体活動をPRするチラシ等配架、及び、来場者に団体活動情報が提供できた。	様々な場所で団体活動の情報を提供及び収集できた。
2. 学習機会の提供に関する事業					
ボランティア活動入門講座	5月31日	キックス	57	テーマ：新しい福祉、福祉の現状や地域福祉、やる気になって元気に市民活動 講師：大阪教育大学准教授 新崎国広氏	高齢化による地域福祉の必要性、その中でのボランティアや市民活動の役割、高齢者等の元気に市民活動ができるまちづくりなど有意義な講座であった。
ボランティア活動体験・見学プログラム	夏：7月23日～8月26日	キックス・ボランティアセンター・その他活動場所	夏：493 通年：127	対象者：市民（幼児・小学生以上の市内在住・在勤・在学者）目的：各ボランティア団体の活動状況を見学し実際に体験し、ボランティア活動を理解してもらい参加の機会をつくる。実施プログラム数：夏32、通年3プログラム 参加団体数：夏21、通年2団体	一般参加者が前年度より大幅に減少した。理由は、プログラムのマンネリ化、他に他団体の公民館での実施などである。次年度は、PRの仕方・ユニークなプログラム、くろまる認定などの検討が必要。春秋のプログラムも大幅に減少した。
グループ運営講座	9月25日	キックス	38	テーマ：災害が起こったら?災害が起こる前に~地域防災力の向上を目指して~ 講師：関西大学准教授 菅 磨志保氏	災害災害を想定し、今、私たちは何をすべきか。何をしたらよいか。災害が発生したら何が出来るか。ボランティアや市民活動の目線で考える講座であった。
3. 交流促進に関する事業					
市民まつりへの参加	5月11日	寺ヶ池公園 小山田小学校	—	「河内長野のここが好き」野菜カード、鉛入りかぶどの折り紙、おやこ劇場が企画参加の「切り紙細工」などのワーク、掲載団体活動一覧表「ガイドブック」、「るーぷらざだより」「イベント情報」などを展示	各団体の活動状況や「るーぷらざ」のPRができた。また、ボランティア・市民活動に興味を持っていただいた。「河内長野のここが好き」野菜カードには関心があつた。
市内団体交流会	11月6日	河内長野ガス	32	対象者：市民公益活動団体など。内容：団体活動報告と情報交換、防災かまどベンチを用いた「炊き出しワークカフェ」「いざめし」づくりなど 参加団体数：15	例年の内容に加え、防災について団体の活動の中で考えてもらうきっかけづくりができた。また、新しく参加した団体もあり、なごやかな雰囲気情報交換ができた。
ボランティア・市民活動フェスティバル	2月22日	キックス	4,900人、参加団体60	目的：参加団体の活動を紹介し、ボランティア・市民活動の啓発及び促進を図る。テーマ：よりよい明日へ、さし出す勇気、受け取る勇気、紡ぐ未来 内容：ボラフェス15周年の歩み、大槌町への支援、防災の取組み、一文字造語、展示・ワーク・フリーマーケット・ステージ、絵画コンクール展など。	今年は市制60周年、ボラフェス15周年記念としての催しを行った。前年度より参加団体・来場者が増え新しい出会いができた。市民の関心が高く、来場者の評判も良かった。市民にボランティアに関して関心を持ってもらい、また、参加団体間の交流もできた。なお、絵画コンクール(18作品)は少なかった。
4. 相談・コーディネートに関する事業					
ボランティア・市民活動情報提供コーナー	通年	るーぷらざ	件数：128	ボランティアをしようとする来場者に、相談や団体活動情報を提供できた。ボランティアマッチングシステムを取り入れ、福祉施設などとボランティア団体とのマッチングに取り組む体制を作った。[キックスでの情報提供コーナーは10月から都合で廃止]	今年の後半から「るーぷらざ」にボランティアマッチングボードで要請者と提供者の情報を展示するなどし、数件のマッチングができた。しかし、提供側の情報が少ないのが現状である。また、まだまだ相談員の質の向上が必要である。
ボランティアアドバイザー養成講座	11月28日 12月5日	るーぷらざ	18 20	目的：ボランティアアドバイザーを目指す人に、ボランティア活動を始めようとする人への情報提供や相談に応じるためのノウハウを学ぶ 1回目：アドバイザーの役割、2回目：アドバイザーが出来ること 講師：茨木市市民活動センター百瀬真由美氏	ボランティアアドバイザーとは何か、アドバイザーの活動場面、相談対応のスキルアップ、市民団体の運営についての課題・解決方法の模索等を学んだ。また、詳しく事例を入れ且つワークシートを使うなど実践的な講座であった。
相談・コーディネート機能	—	—	—	今年度は例年のような研修・講習等に参加できなかったが、全国ボランティアフェスティバル等に参加し	計画的に外部研修・講習等に積極的に参加する機会を設ける必要がある。
ステップアップ講座	1月22日	るーぷらざ	25	会計実務講座(入門編)：ボランティア団体・NPOを運営する上で必要となる会計に関する知識向上を目指す。講師：大阪ボランティア協会事務局長水谷綾氏	団体の初めて会計担当になった受講者に、どの様な書類が必要か、また、会計処理の内容について分かり易い講座であった。入門編でなく、中級編もしてほしいとの声
5. 支援センター管理運営及び事務局の事業					
支援センター管理運営	通年	支援センターの管理運営(各事業・行事)、るーぷらざ設備の提供など			大きな問題もなく遂行できた。また、内容も向上した。
地域型組織活性化	まちづくり協議会のるーぷらざで各校区別のチラシの展示、日程の把握など。自治振興課主催の自治会意見交換交流会開催協力、自治会関連の相談対応など				まちづくり協議会はチラシの展示、市民の方からの協議会の内容や日程連絡などができた。
市民公益活動支援補助金	2月12日 3月11日	るーぷらざ	5 6	市民公益活動支援補助金制度説明会及び活用講座「補助金制度とその申請にあたって」講師：(特活)市民活動フォーラムみのお理事長須貝昭子氏 プレゼンテーション講座 講師：認定NPO法人大阪NPOセンター事務局職員高見理恵氏 プレゼンテーション必要な観察力	制度や活用方法がわかり、役立つ内容のものであった。また、プレゼンテーション講座では、プレゼンテーションのポイントが学べ、プレゼンテーションを実際に行い審査し合うことで有意義な講座となった。
協働事業提案制度	5月21日	るーぷらざ	21	基調講演：協働事業体験をふまえて~行政との話の進め方 対象：協働事業の提案を考える市民活動団体など 講師：大阪狭山市市民活動センター所長白井隆氏	制度説明会、基調講演として、官民協働の概念、官民協働事業の推進体験、大阪狭山市の官民協働促進施策、行政との「話」の進め方などの講演であった。
センターラウンドテーブル るーぷの集い	毎月第2土曜	るーぷらざ	66	「住み良いまち、安心できるまち、自然を満喫できるまちを私たちの手で」様々な分野で活躍する人が対等な立場で課題を共有し情報交換する場、ここからネットワークが広がり地域づくりにつなげる。	お互いの親睦が図られ、今後のボランティア活動にプラスになり、更に、お互いの情報交換・交流の場になった。反面、参加者が固定化及び減少傾向にあり、幅広く市民に呼びかける必要がある。
イベント情報の発行	年12回	毎月初めに発行、「るーぷらざ」及び団体の行事を掲載			毎月初めに定期的に発行できた。
消防訓練	12月12日 3月13日	るーぷらざ	13 7	消火器・自火報の操作訓練・避難訓練 消火器・自火報の操作訓練・避難訓練	緊急時を想定した訓練が出来た。
大学生のインターンシップ受入事業	8月~9月	るーぷらざ	大学生7名	市民協働課の要請により大学生のインターンシップの受け入れ、同課と共同で実施、当センターの実習、夏の体験見学プログラム参加且つ体験報告(臨時るーぷらざだより)作成を行った。	体験見学プログラムに参加し、学生が地域社会とのつながり、その中でボランティアに関心を持ち、社会人となってもボランティア活動に何らかの形でかかわってもらいたいとの思いで実施、その効果はあったと思う。
団体支援パソコン講座	5月12日~3月9日	るーぷらざ	16回/年 参加者15名	パソコン講座：ボランティア団体会員を対象 内容：テキストを用い、写真・イラスト・アート文字などの挿入、回覧・チラシ・ポスター・情報紙・会計簿などが作成できるレベル	今年度は、初心者を対象に実施、年間を通して参加してもらった。なお、パソコンが団体の活動に役立てて頂くことができると思う。パソコン講座は団体のニーズが高く平成27年度も引き続き実施予定。
活動報告書の作成	通年	—	—	一年間の活動を活動報告書にまとめた。	単なる報告にとどまらず、今後の活動につなげる。
その他	11月30日 年5回 その都度	大阪大谷大学 河内長野ガス —	— — —	「南河内の集い」世話人会へ参加、第5回南河内市民公益活動団体・市民交流会つなごうよ!あなたの活動と防災、南河内の集い第3分科会防災グッズを学ぼう!担当 河内長野・産官民連携による地域防災連携推進に向けた勉強会への参加 支援センターの管理運営や行事内容の紹介・展示・他自治体等の視察・研修受け入れ、市内情報誌等への情報提供(シリーズ掲載)など	

平成26年度相談対応の主な内容と件数(平成26年4月～27年3月)

※資料4

1. 相談項目と件数

No	分類	相談等の内容	課題・対策	件数
1	団体運営・行事企画、団体立ち上げなど	団体の方向性・悩みごと、情報提供、支援協力要請(行事・講座、チラシ作成)、会員募集依頼、ボランティア要請など	団体の活動内容・特徴などを把握	32
2	NPO活動、NPO立ち上げに関すること	NPO準備・立上たい、申請方法、会計処理、NPO情報・取り組み方・支援(融資)	NPOの一般的知識の習得、市とセンターの業務区分	3
3	支援補助金、協働事業に関すること	制度の内容、申請方法、制度の運営・活動について	制度の理解、団体の動向把握	2
4	まちづくり交流会・協議会、まちづくり関係		交流会・協議会の動向把握、地域の活動状況把握	0
5	自治会・老人会・子供会活動に関すること	子ども会の企画・行事支援、自治会活動・運営・役員について、自治会の問題点、ひきこもり、介護施設・デイサービスなど	自治会・老人会・子ども会の普遍性や特性を把握	2
6	大学連携、学生支援関係に関すること		地域の学校と連携	0
7	助成金に関すること			0
8	ボランティア保険に関すること	市の市民公益活動補償制度などについての相談など	新加入団体に注視、行政の施策の把握	1
9	当センターの使用・利用に関すること	センターは何をするところ、るーぶの集い参加、自治会のセンター利用、ラミネート利用など	支援センターのPR	9
10	当センター主催事業に関すること	ボラフェスの企画内容・準備、ボラフェス初参加、体プロの企画内容、体プロ初参加、講座、市の企画・事業仕分け、他市の事業について		6
11	11.「ガイドブック」掲載に関すること	「ガイドブック」の掲載方法、内容、書き方、手続きなど		3
12	募金・寄附に関すること			1
13	他市より当センターの運営・事業など	当センターの設立・管理運営について、他市からの訪問、他市との意見交換、他市の活動を知りたい	当センターの管理運営の把握、他市の活動に注視	1
14	他市・府関連に関すること			0
15	広報、掲示、情報提供など	チラシの作り方		4
16	ボランティア活動をした	退職者・学生Vo、なんとなくVo、手話・舞踊・福祉施設でVo、有償Vo希望	スタッフの情報の共有化、マニュアル化、また、フォローアップ	30
17	その他	手続きの方法、報告書の書き方など	被災地の動向に注視	34
計				128

2. 所見

・相談記録件数は昨年度より大幅に減少した。その原因は、単純相談(問い合わせなど)を削除した。

[昨年度 194件]

・相談対応者に偏りがある。また、スタッフのレベルアップが要求される。

・相談内容は、データ・ベース化(対応内容・結果など)するなどによりスタッフの情報の共有化を図る。